日本リモートセンシング学会 第73回(令和4年度秋季)学術講演会 2022/11/29

Sentinel-1強度画像を用いた深層学習による 土砂移動検出アルゴリズムの開発

伊藤奎政¹·木下陽平¹

1)筑波大学



研究背景

地震や豪雨といった自然災害により**土砂移動**が発生 - 救助や避難の**遅延、二次災害**の発生も

2004年中越地震では61集落が孤立、避難・救助の遅れ 2017年九州北部豪雨でも福岡県朝倉市等で避難の遅れから被害拡大



中越地震における被害の様子

▶衛星SARは時間帯や天候に関わらず 地表面広域を観測可能 →災害後の迅速な被害地の把握に繋がる

▶災害前後の<mark>衛星SAR強度画像</mark>を用いた 検出が期待





- ▶迅速な検出には、定量性・汎用性・自動処理が必要 ⇒機械学習を用いた検出に着目
- ▶ピクセルベースでの機械学習 ⇒大規模+顕著な強度変化を示した一部の土砂移動のみ検出 ピクセルレベルでの精度や未検出・誤検出に大きな課題



▶深層学習を用いた先行研究は未だ 少なく、複数事例を用いた検証も不足 (An et al. 2020、Nava et al. 2021,2022)



Ito, Kinoshita (2021), The 71st Conf. RSSJ



Sentinel-1強度画像を用いた深層学習による土砂移動検出の検証



→救助や航空観測などの各種災害後対応の効率化に寄与



Sentinel-1 ▶ヨーロッパが運用しているCバンドSAR衛星 高頻度観測 長期アーカイブ オープン&フリー

https://sentinel.esa.int/web/sentinel/user-guides/sentinel-1-sar/overview





災害後VV-VH

対象事例と使用データ



①2018年北海道胆振東部地震

	観測日時	シーン数	観測方向
災害前データ	2017/09/10~2018/08/24	30シーン	Dosconding
災害後データ	2018/09/06	1シーン	Descending

②2018年ロンボク島(インドネシア)地震

	観測日時	シーン数	観測方向
災害前データ	2017/08/04~2018/07/30	31シーン	Dosconding
災害後データ	2018/08/23	1シーン	Descending

③<u>2017年九州北部豪雨</u>

	観測日時	シーン数	観測方向
災害前データ	2016/01/05~2017/06/26	27シーン	Dosconding
災害後データ	2017/07/09	1シーン	Descending

④2018年西日本豪雨

	観測日時	シーン数	観測方向
災害前データ	2017/06/03~2018/06/10	31シーン	Ascending
災害後データ	2018/07/16	1シーン	Ascending



https://saigai.gsi.go.jp/3/20180906/iburihokai_2-zentaizu.pdf



https://saigai.gsi.go.jp/3/20170726handokuzu /handokuzu.pdf

土砂移動検出結果:精度

学習事例	検証事例	精度(Kappa係数)
2018年胆振地震	2018年胆振地震	0.625
	2017年九州北部豪雨	0.186
2017年九州北部豪雨	2018年胆振地震	0.294
	2017年九州北部豪雨	0.262
2018年胆振地震	2018年胆振地震	0.542
〒2010年ロノ小ク局地辰	2017年九州北部豪雨	0.247
2017年九州北部豪雨	2018年胆振地震	0.238
十2018年四日本家的	2017年九州北部豪雨	0.237
全て(4つ)の事例	2018年胆振地震	0.454
	2017年九州北部豪雨	0.254
		_

▶学習事例と同一事例では精度が良く、異なる事例では精度低下
▶複数の事例を学習させることによるモデルの汎用性向上が示唆



Training: 2018年胆振東部地震 Test: 2018年胆振東部地震



ピクセルベース機械学習との比較

Training: 2018年胆振東部地震 Test: 2018年胆振東部地震

ピクセルベース機械学習 (Gradient Boosting)

深層学習

(Semantic Segmentation: U-Net)



検出結果(2018年胆振東部地震)





▶検証用のインベントリデータにはない土砂移動も多く検出 ●災害直後の航空観測では検出できていない土砂移動

衛星SARの有効性を示唆(※胆振地震では発災後約2時間程度で観測)



Landslide Inventory data

Detection Results

2018年胆振東部地震における検出結果の一例(光学画像観測日:2019/05/25)





▶多くの場合、土砂移動の崩壊部に該当する箇所を検出 - 土砂流出経路の途中などでは強度変化が小さいか ▶観測方向に対して奥側の斜面(=LIA大きい)における未検出も多め



Google Earth



13



130°51'36"E

まとめと今後の展望

- ▶発災直後のSentinel-1強度情報と深層学習を用いることにより、 衛星SARデータから土砂移動の一部を検出をすることに成功 一航空観測では検出できていない土砂移動も一部検出 一土石流のような細長い形状の土砂移動検出には課題
- ▶同一事例を学習させた場合に比べ、異なる事例で学習させた場合は検出精度が低下
- ▶複数事例を学習させることによる検出モデルの汎用性向上が示唆



<u>今後も異なる事例や衛星SAR用いた更なる検証が必要</u>

謝辞

本研究を行うにあたり、使用させていただいたソフトウェア およびデータの関係者各位に心より感謝いたします。

European Space Agency (ESA)

- Sentinel-1
- Sentinel-2
- SNAP

■<u>国土地理院</u>

ー 2017年九州北部豪雨、2018年北海道胆振東部地震における 土砂移動箇所分布図

■広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団(地理学グループ) 一平成 30 年 7 月豪雨による広島県の斜面崩壊分布図

■ <u>Ferrario 2018</u>

- 2018年インドネシア・ロンボク島地震における土砂移動データ